

事業の背景・目的

当該地域は、5種群の大型水鳥類の生息可能な、国内有数の生物多様性の高い地域であるが、生息環境の面積の減少やその質的低下が懸念されていることから、平成27年度より国管理河川における生息環境整備の検討が進められてきた。一方、農地や里山環境等の保全整備は実態把握も充分とは言えず大きな課題である。また地域の環境特性や魅力について地域住民の認知度も高くない。本事業では雲南市でのコウノトリの自然繁殖や、出雲市で開始されたトキの一般公開を踏まえ、自然的条件の把握や普及啓発活動を通じ、コウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワークの形成と地域振興を目指した多様な主体との広域連携と継続的な活動の推進を図る。

事業の内容

令和元年度

コウノトリ・トキの生息環境の現状把握と、地域住民の認知度を高めるための普及啓発、目標設定や各主体の役割など、継続的な取組を行うための計画の骨子についての検討・作成を行う。

事業① 生態系ネットワーク形成検討調査事業

・採食環境の分布状況把握及び生物調査、採食環境整備検討

事業② 普及啓発及び地域振興方策検討事業

・学習会、イベント、広報資料作成による普及啓発

事業③ 「出雲・雲南地域連携保全活動計画」策定事業

・調査データを元にした活動計画の骨子の作成と検討

令和2年度

コウノトリ・トキの生息環境の把握と分析、地域住民の参画を図るための普及啓発、観光等地域振興策の検討、各主体が連携して継続的な取組を行うための計画を策定する。

事業① 生態系ネットワーク形成検討調査事業

・前年度を踏まえた生息環境条件調査、採食環境の管理手法検討

事業② 普及啓発及び地域振興方策検討事業

・前年度を踏まえた普及啓発及び、観光等地域振興方策の検討

事業③ 「出雲・雲南地域連携保全活動計画」策定事業

・2年間の調査データや検討内容を元にした活動計画の策定

得られた成果

地元住民や団体と連携により実施した生きもの調査やビオトープ整備などを通じて、コウノトリやトキと共生するまちづくりや生物多様性保全の重要性が周知された他、具体的な取組を提示することにより、市民意識の向上や、自治体やNPO、関連団体との連携や取組の活発化を図ることができ、協力団体の増加など成果が出ている。今後も地域住民や団体のさらなる参加が期待される。さらに、当該地域等の自然環境に関わる専門機関（ホシザキグリーン財団等）とのさらなる連携も期待される。

令和2年度に策定する「出雲・雲南地域連携保全活動計画」は、当該事業の結果並びに「出雲市トキによるまちづくり構想」や「幸せを運ぶコウノトリと共生するまちづくりビジョン・アクションプラン」等の地域の各種計画と連携する内容として、取組を明確化することにより、地域住民や団体など多様な主体の連携による生物多様性保全活動の実施・展開が可能になると考えられる。